



平成23年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年2月8日

上場取引所 東大

上場会社名 青山商事株式会社

コード番号 8219 URL <http://www.aoyama-syouji.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長兼執行役員社長 (氏名) 青山 理

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役兼専務執行役員企画管理 本部長 (氏名) 宮武 真人

TEL 084-920-0050

四半期報告書提出予定日 平成23年2月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年3月期第3四半期の連結業績(平成22年4月1日～平成22年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第3四半期	138,399	△1.1	6,725	△11.6	2,724	△45.6	△198	—
22年3月期第3四半期	139,889	△6.1	7,609	△33.9	5,006	△45.4	1,231	△53.5

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
23年3月期第3四半期	△3.11	—
22年3月期第3四半期	19.38	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円銭
23年3月期第3四半期	326,376	224,019	68.0	3,488.99
22年3月期	333,709	226,805	67.4	3,535.07

(参考) 自己資本 23年3月期第3四半期 221,832百万円 22年3月期 224,764百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
22年3月期	—	20.00	—	20.00	40.00
23年3月期	—	20.00	—	—	—
23年3月期(予想)	—	—	—	20.00	40.00

(注)当四半期における配当予想の修正有無 無

3. 平成23年3月期の連結業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	196,000	0.7	14,500	△1.9	11,900	△11.4	4,600	△17.9	72.35

(注)当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他（詳細は、【添付資料】P.4「その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 有

新規 1社（社名 株式会社イーグルリテイリング）、除外 1社（社名

（注）当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有

（注）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 有

（注）「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む） 23年3月期3Q 67,394,016株 22年3月期 67,394,016株

② 期末自己株式数 23年3月期3Q 3,813,465株 22年3月期 3,812,701株

③ 期中平均株式数（四半期累計） 23年3月期3Q 63,581,149株 22年3月期3Q 63,581,819株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

なお、上記予想に関する事項については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

(参考) 個別業績予想

平成23年3月期の個別業績予想 (平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	164,500	2.0	13,100	0.7	11,100	△9.5	4,400	△9.7	69	20

(注) 個別業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. その他の情報	4
(1) 重要な子会社の異動の概要	4
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	4
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
(5) 重要な後発事象	9
4. (参考) 四半期財務諸表 (個別)	10
(1) (参考) 四半期貸借対照表 (個別)	10
(2) (参考) 四半期損益計算書 (個別)	12

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

<紳士服販売事業>

〔青山商事(株)、ブルーリバーズ(株)、(株)エム・ディー・エス、(株)栄商(なお、これまで「紳士服販売事業」に含めておりましたカジュアルランドあおやま(株)は、当期から新会計基準の適用により「その他」に含めております。)〕

当第3四半期連結累計期間(平成22年4月1日から平成22年12月31日まで)におけるわが国経済は、企業業績に一部回復傾向が見られるものの、依然として先行き不透明な状況が続いており、個人消費につきましても、社会保障に対する先行き不安や雇用回復の遅れなどから厳しい状況が続いております。

このような状況下、青山商事(株)につきましては、10月より「洋服の青山」において都心の旗艦店として「銀座本店」、「渋谷駅前総本店」を出店し、開店協賛セールを全店で実施するなど、新たな顧客の取り込みに注力するとともに、11月より価格訴求を中心とした「総力祭」を上期に引き続き実施するなど、客数増加のための施策を積極的に実施いたしました。既存店売上高は前年同期比99.2%となりました。

なお、4月から12月までの9ヶ月間のメンズスーツの販売着数は、前年同期比100.6%の1,757千着となりました。

店舗につきましては、当第3四半期(4月～12月)までに「洋服の青山」において17店舗を出店(内6店舗を移転)し、非効率な1店舗を閉店いたしました。

また、「ザ・スーツカンパニー」は1店舗を出店し、「ザ・スーツカンパニーズ ウィークエンド」は1店舗を閉店いたしました。

なお、「ザ・スーツカンパニーズ ウィークエンド」は、この閉店をもって業態を解消いたしました。

この結果、第3四半期末の店舗数は下記のとおりであります。

(単位:店)

業態名	洋服の青山	ザ・スーツカンパニー	ユニバーサルランゲージ	合計
店舗数	746	37	3	786

こうしたことから、当第3四半期(4月～12月)までの紳士服販売事業の売上高は1,151億73百万円となり、予想を下回る状況となっておりますが、営業利益につきましては、経費の効率的な使用等により、概ね予想通りの推移となっております。なお、当事業の売上高はセグメント間取引相殺消去前の数値であります。

<その他事業>

カード事業につきましては、概ね予想通りとなっておりますが、商業印刷事業及び雑貨販売事業につきましては、予想を若干下回っております。

また、新会計基準の適用により、紳士服販売事業から除いたカジュアルランドあおやま(株)につきましては、既存店売上高は前年同期比90.9%となり、予想を下回る状況となっております。

店舗につきましては、当第3四半期(4月～12月)までに「リーバイスストア」1店舗、「セカンドストリート」3店舗、「ジャンブルストア」1店舗を出店し、「キャラジャ」4店舗を閉店いたしました。

この結果、平成22年12月末の店舗数は33店舗（「キャラジャ」26店舗、「リーバイスストア」2店舗、「セカンドストリート」4店舗、「ジャンブルストア」1店舗）となりました。

こうしたことから、その他事業全体では、予想を下回っております。

<連結経営成績>

上記の結果、当第3四半期（4月～12月）までの当社グループにおける売上高は1,383億99百万円（前年同期比98.9%）、営業利益は67億25百万円（前年同期比88.4%）となり、売上高、営業利益ともに予想を若干下回る状況となっております。

経常利益は、「包括的長期為替予約契約（クーポンスワップ契約）」等に係るデリバティブ評価損33億85百万円、為替差損16億9百万円を営業外費用として計上したことなどにより27億24百万円（前年同期比54.4%）となりました。

特別損失では、紳士服販売事業等において減損損失12億87百万円など合計28億48百万円を計上いたしました。

この結果、四半期純損失は1億98百万円（前年同期は四半期純利益12億31百万円）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末における資産について、流動資産は1,628億5百万円（前期末比96億86百万円減）となりました。これは主として、営業貸付金が74億60百万円、有価証券が17億68百万円、受取手形及び売掛金が14億71百万円、商品及び製品が14億86百万円それぞれ減少いたしました。現金及び預金が39億86百万円増加したことによるものであります。

固定資産は1,635億11百万円（前期末比22億93百万円増）となりました。これは主として、無形固定資産が3億63百万円、投資その他の資産が48億28百万円それぞれ増加いたしました。有形固定資産が28億98百万円減少したことによるものであります。

この結果、資産合計は3,263億76百万円（前期末比73億33百万円減）となりました。

負債について流動負債は594億52百万円（前期末比87億98百万円減）となりました。これは主として、1年内償還予定の社債が100億円減少したことによるものであります。

固定負債は429億4百万円（前期末比42億51百万円増）となりました。これは主として、社債が50億円増加したことによるものであります。

この結果、負債合計は1,023億57百万円（前期末比45億46百万円減）となりました。

純資産合計については2,240億19百万円となり、前期末と比べ、27億86百万円の減少となりました。これは主として、利益剰余金が27億41百万円減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

本資料の発表日現在におきましては、平成22年11月9日に発表した連結業績予想を変更しておりません。なお、業績予想におけるデリバティブ評価損益につきましては、平成23年3月末の為替相場、日米金利差が平成22年9月末と不変であるとの前提のもとに通期で11億円のデリバティブ評価損（営業外費用）を予想しております。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

当第3四半期連結会計期間より、新たに設立した株式会社イーグルリテイリングを連結の範囲に含めております。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

1. 簡便な会計処理

①一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第3四半期連結会計期間末の貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められる場合、前連結会計年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。

②棚卸資産の評価方法

当第3四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、当第2四半期連結会計期間末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算出する方法によっております。

また、棚卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行う方法によっております。

2. 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しております。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

1. 「資産除去債務に関する会計基準」等の適用

第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号 平成20年3月31日）及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日）を適用しております。

これにより当第3四半期連結累計期間の営業利益及び経常利益は37百万円、税金等調整前四半期純利益は507百万円それぞれ減少しております。また、当会計基準等の適用開始による資産除去債務の変動額は610百万円であります。

2. 繰延資産の処理方法の変更

連結子会社において社債発行費は、従来、支出時に全額費用処理しておりましたが、当第3四半期連結累計期間より繰延資産に計上し、社債償還までの期間にわたり均等償却する処理に変更いたしました。

従来、連結子会社では、社債の発行及び金融機関からの借入を固定的な償還・借入期間で定期的を実施し、安定した資金調達を行ってまいりましたが、カード事業における経営環境の変化を受けて、資金調達の方針を、社債と借入の柔軟な組合せに変更すると共に、償還・借入期間についても資金需要の見通しに応じた期間とすることといたしました。これに伴い、資金調達コストを平準化し、期間損益計算をより一層適正化する観点から会計方針の変更を実施するものです。

これにより従来の方法に比べ当第3四半期連結累計期間の売上原価は60百万円減少し、営業利益、経常利益及び税金等調整四半期純利益が同額増加しております。

なお、第2四半期連結累計期間において社債の発行がないため、第2四半期連結累計期間の四半期連結財務諸表に係る影響額はありません。

1 【四半期連結財務諸表】
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	35,333	31,347
受取手形及び売掛金	10,514	11,986
有価証券	32,699	34,468
商品及び製品	38,031	39,518
仕掛品	49	37
原材料及び貯蔵品	525	603
営業貸付金	41,866	49,326
その他	4,215	6,047
貸倒引当金	△430	△841
流動資産合計	162,805	172,492
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	125,415	122,922
減価償却累計額	△66,324	△62,260
建物及び構築物 (純額)	59,090	60,662
土地	33,156	33,109
その他	20,132	19,120
減価償却累計額	△12,298	△9,913
その他 (純額)	7,833	9,207
有形固定資産合計	100,079	102,978
無形固定資産	2,535	2,171
投資その他の資産		
敷金及び保証金	28,860	28,146
その他	32,057	27,947
貸倒引当金	△22	△26
投資その他の資産合計	60,896	56,067
固定資産合計	163,511	161,217
繰延資産		
社債発行費	60	—
繰延資産合計	60	—
資産合計	326,376	333,709

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	15,641	15,488
短期借入金	9,880	10,325
1年内償還予定の社債	—	10,000
未払法人税等	343	2,063
賞与引当金	315	1,221
その他	33,272	29,152
流動負債合計	59,452	68,251
固定負債		
社債	24,000	19,000
長期借入金	9,000	10,440
退職給付引当金	3,497	3,395
ポイント引当金	2,619	2,767
その他	3,787	3,049
固定負債合計	42,904	38,652
負債合計	102,357	106,904
純資産の部		
株主資本		
資本金	62,504	62,504
資本剰余金	62,975	62,975
利益剰余金	126,227	128,968
自己株式	△12,248	△12,247
株主資本合計	239,459	242,201
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△17	170
土地再評価差額金	△17,609	△17,607
評価・換算差額等合計	△17,627	△17,437
新株予約権	368	246
少数株主持分	1,818	1,794
純資産合計	224,019	226,805
負債純資産合計	326,376	333,709

(2) 【四半期連結損益計算書】
【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)
売上高	139,889	138,399
売上原価	63,644	62,973
売上総利益	76,245	75,425
販売費及び一般管理費	68,636	68,700
営業利益	7,609	6,725
営業外収益		
受取利息	357	363
受取配当金	150	125
不動産賃貸料	276	373
その他	478	318
営業外収益合計	1,262	1,180
営業外費用		
支払利息	242	159
為替差損	868	1,609
デリバティブ評価損	2,635	3,385
その他	119	26
営業外費用合計	3,864	5,181
経常利益	5,006	2,724
特別利益		
固定資産売却益	25	12
貸倒引当金戻入額	28	395
特別利益合計	53	407
特別損失		
減損損失	1,442	1,287
固定資産除売却損	558	197
投資有価証券評価損	—	868
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	493
特別損失合計	2,001	2,848
税金等調整前四半期純利益	3,059	284
法人税等	1,661	422
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	—	△138
少数株主利益	165	59
四半期純利益又は四半期純損失(△)	1,231	△198

(3) 継続企業の前提に関する注記

当第3四半期連結累計期間（自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日）

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第3四半期連結累計期間（自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日）

該当事項はありません。

(5) 重要な後発事象

当第3四半期連結累計期間（自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日）

連結子会社の吸収合併

当社は、平成23年2月8日開催の取締役会において、当社100%出資の連結子会社であるカジュアルランドあおやま株式会社を吸収合併することを決議いたしました。

1. 合併の目的

カジュアルランドあおやま株式会社は、主にカジュアル衣料品の企画販売に関する業務を行ってまいりましたが、当社グループ全体の経営の効率化を図るため、吸収合併することといたしました。

2. 合併の要旨

(1) 合併の日程

合併契約承認取締役会	平成23年2月8日
合併契約締結日	平成23年2月8日
合併予定日（効力発生日）	平成23年4月1日

(注) 本合併は、当社においては会社法第796条第3項に規定する簡易合併であり、カジュアルランドあおやま株式会社においては会社法第784条第1項に規定する略式合併であるため、それぞれ合併承認株主総会は開催いたしません。

(2) 合併方式

当社を存続会社とする吸収合併方式で、カジュアルランドあおやま株式会社は解散いたします。

(3) 合併に係る割当の内容

当社は、カジュアルランドあおやま株式会社の全株式を所有しており、本合併による新株式の発行及び資本金の増加並びに合併交付金の支払いはありません。

(4) 消滅会社の新株予約権及び新株予約権付社債に関する取扱い

該当事項はありません。

3. 被合併会社の概要

直前事業年度の財務状態及び経営成績

カジュアルランドあおやま株式会社	
決算期	平成22年3月期（単体）
純資産	427百万円
総資産	1,278百万円
1株当たり純資産	2,137,935.76円
売上高	3,469百万円
営業利益	△233百万円
経常利益	△220百万円
当期純利益	△242百万円
1株当たり当期純利益	△1,210,908.92円

4. 実施予定の会計処理の概要

当該合併は、「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準委員会 企業会計基準第21号平成20年12月26日）及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」（企業会計基準委員会 企業会計基準適用指針第10号 平成20年12月26日）に基づき、共通支配下の取引として会計処理を行う予定であります。

4. (参考) 四半期財務諸表 (個別)

(注) この四半期財務諸表 (個別) は、四半期財務諸表等規則に基づき当社が任意で作成したものです。

(1) (参考) 四半期貸借対照表 (個別)

区分	当第3四半期会計期間末 (平成22年12月31日)		前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成22年3月31日)	
	金額(百万円)	構成比 (%)	金額(百万円)	構成比 (%)
(資産の部)				
I 流動資産				
1 現金及び預金		28,507		23,555
2 有価証券		32,699		34,468
3 商品及び製品		34,263		36,015
4 原材料及び貯蔵品		335		369
5 関係会社短期貸付金		12,200		21,000
6 その他		9,407		12,968
貸倒引当金		△3		△4
流動資産合計		117,409	41.7	128,372
II 固定資産				
1 有形固定資産				
(1) 建物	100,697		98,923	
減価償却累計額	△53,036	47,660	△50,414	48,509
(2) 土地		32,203		32,156
(3) その他	37,821		38,173	
減価償却累計額	△21,717	16,103	△19,973	18,200
有形固定資産合計		95,968		98,866
2 無形固定資産		2,194		1,887
3 投資その他の資産				
(1) 敷金及び保証金		27,872		27,369
(2) その他		38,019		33,777
貸倒引当金		△12		△12
投資その他の資産合計		65,879		61,134
固定資産合計		164,042	58.3	161,889
資産合計		281,452	100.0	290,261

区分	当第3四半期会計期間末 (平成22年12月31日)		前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成22年3月31日)	
	金額(百万円)	構成比 (%)	金額(百万円)	構成比 (%)
(負債の部)				
I 流動負債				
1 支払手形及び買掛金	11,685		12,224	
2 賞与引当金	271		1,065	
3 未払法人税等	141		1,866	
4 その他	32,073		29,413	
流動負債合計	44,172	15.7	44,570	15.4
II 固定負債				
1 長期借入金	4,000		10,000	
2 社債	10,000		10,000	
3 退職給付引当金	3,332		3,228	
4 ポイント引当金	2,611		2,757	
5 その他	3,228		2,626	
固定負債合計	23,172	8.2	28,613	9.8
負債合計	67,344	23.9	73,183	25.2
(純資産の部)				
I 株主資本				
1 資本金	62,504		62,504	
2 資本剰余金	62,975		62,975	
3 利益剰余金	117,945		120,849	
4 自己株式	△12,248		△12,247	
株主資本合計	231,177	82.1	234,082	80.6
II 評価・換算差額等				
1 その他有価証券 評価差額金	△17		170	
2 土地再評価差額金	△17,420		△17,420	
評価・換算差額等合計	△17,438	△6.1	△17,250	△5.9
III 新株予約権	368	0.1	246	0.1
純資産合計	214,108	76.1	217,078	74.8
負債純資産合計	281,452	100.0	290,261	100.0

(2) (参考) 四半期損益計算書 (個別)

【第3四半期累計期間】(参考)(個別)

区分	前第3四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)			当第3四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)		
	金額(百万円)		百分比 (%)	金額(百万円)		百分比 (%)
I 売上高		114,149	100.0		114,741	100.0
II 売上原価		48,256	42.3		48,130	41.9
売上総利益		65,893	57.7		66,611	58.1
III 販売費及び一般管理費		60,017	52.6		60,605	52.9
営業利益		5,875	5.1		6,005	5.2
IV 営業外収益						
1 受取利息	553			480		
2 受取配当金	373			347		
3 不動産賃貸料	451			540		
4 その他	336	1,714	1.5	216	1,584	1.4
V 営業外費用						
1 支払利息	215			141		
2 デリバティブ評価損	2,607			3,379		
3 為替差損	867			1,607		
4 その他	104	3,796	3.3	9	5,138	4.5
経常利益		3,793	3.3		2,452	2.1
VI 特別利益						
1 固定資産売却益	25			12		
2 貸倒引当金戻入額	—	25	0.0	1	13	0.0
VII 特別損失						
1 減損損失	1,191			1,185		
2 固定資産除売却損	530			186		
3 投資有価証券評価損	—			868		
4 資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	1,722	1.5	438	2,679	2.3
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失		2,095	1.8		△213	△0.2
法人税等		1,081	0.9		147	0.1
四半期純利益又は四半期純損失		1,014	0.9		△360	△0.3